



先週の株式・為替相場

株式 日経平均は円高が重荷、米国株は堅調推移

日経平均は米雇用統計の好調を受け 12/11 に年初来高値を更新するもその後は米国政局不安の高まりにより円高が進行したことを受け下落基調となった。米国株は FOMC も難なく通過し経済指標も堅調な内容となったことから買いが優勢となり連日の過去最高値更新となった。

為替 米税制改革の動向により一喜一憂

為替市場では、税制改革法案の年内成立に不安が広がったことで円高が進行した。米上院議会補欠選での与党敗北も政局不安を強めている。週末前には大筋合意の目途が立ったことでドル買い優勢の展開。対ユーロでは ECB ドラギ総裁がインフレ率の懸念を示したことで売りが膨らんだ。

《トピックス》

- ・FRB、今年3回目となる0.25%の利上げを決定。(12/13)
- ・ドラギ総裁、インフレ率目標達成への不安感を示す。(12/14)
- ・日銀短観、業況判断指数(DI)が5期連続改善。(12/15)
- ・独 SPD が連立政権樹立の暫定交渉入りへ。(12/15)
- ・ロシア中央銀行大幅利下げへ。(12/15)
- ・ルビオ上院、税制改革修正案賛成へ。(12/15)

株式市場

	11-Dec	12-Dec	13-Dec	14-Dec	15-Dec	前週末比
Nikkei (日)	22,938.73	22,866.17	22,758.07	22,694.45	22,553.22	▲ 1.13%
Dow (米)	24,386.03	24,504.80	24,585.43	24,508.66	24,651.74	1.33%
DAX (独)	13,123.65	13,183.53	13,125.64	13,068.08	13,103.56	▲ 0.38%
FTSE100 (英)	7,453.48	7,500.41	7,496.51	7,448.12	7,490.57	1.31%
CSI300 (中)	4,069.50	4,016.02	4,050.09	4,026.15	3,980.86	▲ 0.56%

為替市場

	11-Dec	12-Dec	13-Dec	14-Dec	15-Dec	前週末比
USD/JPY	113.55	113.54	112.77	112.39	112.60	▲ 0.77%
EUR/JPY	133.72	133.31	133.47	132.34	132.30	▲ 0.96%
EUR/USD	1.1777	1.1743	1.1836	1.1775	1.1750	▲ 0.20%

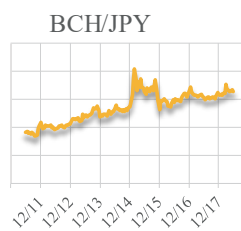
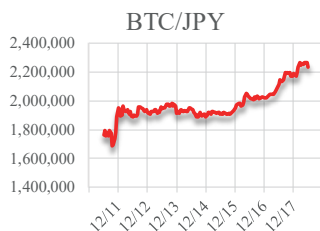
国債利回り

	11-Dec	12-Dec	13-Dec	14-Dec	15-Dec	前週末比
10年国債(日)	0.051	0.047	0.048	0.050	0.044	▲ 0.006%
10年国債(米)	2.39	2.403	2.348	2.349	2.351	▲ 0.027%
2年国債(米)	1.823	1.831	1.778	1.815	1.84	0.042%
10年国債(独)	0.295	0.32	0.316	0.305	0.301	▲ 0.007%
10年国債(英)	1.203	1.219	1.210	1.175	1.146	▲ 0.134%

商品市場

	11-Dec	12-Dec	13-Dec	14-Dec	15-Dec	前週末比
金	1246.9	1241.7	1248.6	1257.1	1257.9	0.61%
原油(WTI)	58.0	57.1	56.6	57.0	57.3	▲ 0.10%

先週の主要通貨動向



	11-Dec	12-Dec	13-Dec	14-Dec	15-Dec	16-Dec	17-Dec	前週末比
BTC/JPY	1,885,614	1,946,034	1,946,850	1,906,931	2,018,550	2,117,250	2,264,950	28.69%
ETH/JPY	54,296	69,016	83,510	78,136	77,119	78,328	81,901	60.60%
XRP/JPY	-	-	-	-	-	-	-	-
BCH/JPY	157,750	177,780	185,194	211,488	195,557	201,848	211,716	39.03%

※終値を日本時間 0:00 とする

相場回顧 週前半 BTC は安定推移しアルトコイン相場が活況となるも週末にかけては BTC 買い優勢の流れ

BTC は 12/11 (月) の CBOE 上場を受け先週の下落基調から一転し一時大きく上昇するもその後は安定的な推移。先物上場により価格が大きく動くことが予想されたが CBOE の取引規模が小さいことや様子見ムードが強まったことで相場への影響は限定的となった。週末にかけては 12/18 (月) CME 上場に向け買いが加速し上昇基調となっている。ETH は UBS 主導の Madrec プロジェクトや cryptokitties の流行により上値追いの展開となり過去最高値を更新。BCH は OKEX の BCH 建て取引開始、投資ファンド Grayscale 保有の大量 BCH 売却完了報道、BitPay の BCH 採用等プラス材料が多く上昇基調となっている。各通貨動向は見られたものの総じて上昇基調となっており、日米を中心とした新規参入の増加により資金がフィアットから仮想通貨市場へと流れている。

《トピックス》

- ・米 CBOE に BTC 先物上場、上場後アクセス集中によりサーバーダウン。(12/11)
- ・今月 HF 予定だった BitcoinPlatinum が韓国高校生による詐欺と判明。(12/11)
- ・XRP、日韓金融機関による送金実験に関する記事が日経新聞掲載。(12/12)
- ・韓国政府、未成年や非居住者の仮想通貨取引を禁止。利用者保護に努める。(12/13)
- ・coincheck の CM が地上波で放映開始。(12/13)
- ・投資ファンド Grayscale が付与された大量の BCH ドル換金を終了。(12/14)
- ・ペイメントプロセッサ大手の Bitpay が BCH 採用へ。(12/15)

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。

・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。



その他アルトコイン動向

アルトコイン相場 ※ coincheck サーバー回復までの対応

- ・韓国取引所 Coinlink に NEM が来年 1 月上場予定。(12/11)
- ・中国取引所 Huobi.Pro がエッセイコンテスト「ダークホース・オブ・ザ・イヤー：Dash」の開催を発表。優勝者に 0.2Dash の賞金。(12/11)
- ・イーサリアムクラシックがハードフォークを実施。限度供給量等を変更。(12/12)
- ・Dash がジンバブエの決済サービス KuvaCash に 55 万ドルを資金提供、携帯電話 SMS での送金実現へ。(12/12)
- ・LTC および Dash が過去最高値を更新。(12/12)
- ・NEM コミュニティによる Nemket 開催。(12/16)

今週のイベント / 経済指標

日付	国	イベント / 経済指標
12/18 (月)	欧	11 月消費者物価指数 (HICP/ 改定値) 発表
	日	11 月貿易統計発表
12/19 (火)	米	11 月住宅着工件数および建設許可件数発表
12/20 (水)	米	11 月中古住宅販売件数発表
12/21 (木)	日	日銀金融政策決定会合後政策金利発表および黒田日銀総裁定例記者会見
	米	7-9 月期四半期実質国内総生産 (GDP/ 確定値) および 11 月景気先行指標総合指数発表
12/22 (金)	英・仏	7-9 月期四半期国内総生産 (GDP/ 確定値) 発表
	米	11 月新築住宅販売件数, 個人消費支出, 個人所得および耐久財受注指数発表

今週の相場予想

株式・為替市場

日経平均は米税制改革法案の大筋合意報道を受け買い先行となるか。先週の下落を受けた押し目買いも入り反発上昇することが期待される。一方で、法案年内成立期限である 12/22 に向けてはその動向に相場が左右される状況が続くと考えられる為、引き続き注視が必要。米国株は連日の高値更新を受け目先の利確売りが入りやすい状況と言えるが買い材料も多く上昇基調継続となるか。今週は日米ともに経済指標の発表を多く控えておりその内容に注目。

仮想通貨市場

BTC は乱高下しながらも上昇基調となるか。本日 12/18 (月) CME 上場による市場への影響は正直未知数である。一つ言えるのは大きな売買により急騰急落が起きボラティリティが高まるだろうということ。一方で、日米韓を中心に仮想通貨への注目度は高まっており新規参入による買いは今後も強まってくると考えられる。大きく下げる場面はあっても業界として活気づいていることから市場全体の取引規模が大きく下がることは考えにくく、各通貨好材料もあり上昇期待は持てる。

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。

・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。